

長岡市「週休 2 日適用工事」(令和 8 年 4 月) 実施要領

【営繕工事】

1 目的

本要領により「週休 2 日適用工事」を実施することで、建設現場における週休 2 日の更なる推進及び質の向上を図ることを目的とする。

2 用語の定義

(1) 週休 2 日

① 完全週休 2 日(土日)とは、対象期間の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所(現場休息)日に指定し、2 日以上現場閉所(現場休息)を行ったと認められる状態をいう。

ただし、土曜日又は日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日を現場閉所日(現場休息日)に指定するものとする。

② 月単位の週休 2 日とは、対象期間において、全ての月で 4 週 8 休以上の現場閉所(現場休息)を行ったと認められる状態をいう。

③ 通期の週休 2 日とは、対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所(現場休息)を行ったと認められる状態をいう。

(2) 対象期間

現場着手日(現場に継続的に常駐した最初の日)から現場完了日までの期間をいう。

なお、年末年始休暇 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

(3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場が閉所された状態をいう。

(4) 現場休息

分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業がない状態をいう。

3 週休 2 日の達成基準

(1) 完全週休 2 日(土日)

完全週休 2 日(土日)の達成は、対象期間内の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの 7 日間とする。以下同じ。)ごとに現場閉所(現場休息)日数が 2 日以上水準に達していることをもって判断する。

ただし、対象期間の日数が 7 日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜

日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行ってれば、達成しているとみなす。

(2) 月単位の週休 2 日

月単位の週休 2 日の達成は、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が、28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達していることをもって判断する。

ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行ってれば、達成しているとみなす。

(3) 通期の週休 2 日

通期の週休 2 日の達成は、対象期間内の現場閉所（現場休息）率が28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達していることをもって判断する。

なお、現場閉所日（現場休息日）を土曜日及び日曜日としない場合においては、上記の「土曜日及び日曜日」を受発注者間の協議により変更できるものとする。ただし、完全週休 2 日（土日）に取り組む場合は、同一の週内において変更するものとする。

また、現場休息率の算出において、現場休息日数には現場閉所日数を含むものとし、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

4 対象工事

原則、令和 8 年 4 月 1 日以降に公告又は指名通知を行う、当初設計額が200万円を超える営繕工事を対象とする。

ただし、発注者が「週休 2 日適用工事」に適さないと判断した以下に該当する工事は除外することができる。

- ・ 地域の実情、現場条件（関連工事）等により、週休 2 日の確保が困難な工事
- ・ 災害復旧工事等、緊急性を要する工事
- ・ 現場施工期間が休工日を含めて 7 日間未満の工事

5 発注方式

次の①又は②のいずれかによる方式を基本とする。

なお、一つの工事現場で複数の工事が分離発注される場合は、全ての工事について同一の方式を選択する。

① 発注者指定方式（完全週休 2 日（土日））

発注者が完全週休 2 日（土日）に取り組むことを指定する方式

設計図書に別紙 1 『長岡市「週休 2 日適用工事」（令和 8 年 4 月）【営繕工事】特記仕様書（発注者指定方式（完全週休 2 日（土日）））』を添付する。

② 発注者指定方式（通期）

発注者が通期の週休 2 日に取り組むことを指定する方式

受注者が現場着手前に「完全週休 2 日（土日）」又は「月単位の週休 2 日」に取り組む旨を発注者と協議した上で取り組むことができる。

設計図書に別紙 2 『長岡市「週休 2 日適用工事」（令和 8 年 4 月）【営繕工事】特記仕様書（発注者指定方式（通期））』を添付する。）

6 積算方法等

(1) 補正方法

対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた以下の補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）及び現場管理費を補正する。

なお、補正の運用に当たっては、令和 7 年 3 月 25 日付け国営積第 7 号、大臣官房官庁営繕部計画課 営繕積算企画調整室長通知による。

① 完全週休 2 日（土日）	労務費	1. 0 2
	現場管理費	1. 0 1
② 月単位の週休 2 日	労務費	1. 0 2
	現場管理費	1. 0 0
③ 通期の週休 2 日	労務費	1. 0 0
	現場管理費	1. 0 0

(2) 積算及び変更方法

① 発注者指定方式（完全週休 2 日（土日））

「完全週休 2 日（土日）」の達成を前提に、(1)①により労務費及び現場管理費を補正し工事費を積算して予定価格を作成する。

現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、「完全週休 2 日（土日）」が未達成の場合は、補正係数を(1)②に変更し、「月単位の週休 2 日」が未達成の場合は、補正係数を(1)③に変更し、請負金額のうち補正分を減額変更する。

なお、契約変更においては、長岡市建設工事請負基準約款（平成 23 年 3 月 31 日告示第 98 号）第 25 条の規定に基づき行うものとする。

また、現場着手前に受注者が「完全週休 2 日（土日）」の取組を希望しない場合（「完全週休 2 日（土日）」の取組の協議が整わなかった場合を含む。）、契約締結後における直近の変更契約等に併せて、補正係数を(1)③に変更するものとする。なお、「通期の週休 2 日」が未達成の場合についても補正係数を(1)③に変更するものとする。

② 発注者指定方式（通期）

「通期の週休 2 日」の達成を前提に、(1)③により労務費及び現場管理費を補正し工事費を積算して予定価格を作成する。

現場着手前に受注者が「完全週休 2 日（土日）」又は「月単位の週休 2 日」の取

組を希望した場合、現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、希望した上で「完全週休２日（土日）」を達成した場合は、補正係数を(1)①に変更し、希望した上で「月単位の週休２日」を達成した場合は、補正係数を(1)②に変更し、請負金額のうち補正分を増額変更する。

なお、契約変更においては、長岡市建設工事請負基準約款（平成23年３月31日告示第98号）第25条の規定に基づき行うものとする。

また、「通期の週休２日」が未達成の場合、補正係数は(1)③として、変更しないものとする。

7 現場閉所（現場休息）の確認方法等

(1) 現場閉所（現場休息）の確認方法

① 現場着手前

- ・ 監督員は、現場閉所（現場休息）の予定日を記載した「工程表」等を受注者より受領し、「月単位の週休２日」又は「通期の週休２日」が確保されていることを確認する。
- ・ 「対象期間」の設定として、現場着手日及び必要に応じて工場製作のみを実施する期間などの対象外とする期間を受注者との協議により決定する。
- ・ 分離発注工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場閉所（現場休息）の予定日を調整した上で、その予定日を記載した「工程表」等を作成し、監督員に提出する。

② 現場着手後

- ・ 監督員は、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度、現場閉所（現場休息）の予定日を記載した「工程表」等を受注者より受領し、現場閉所（現場休息）の状況を確認する。なお、「工程表」等の修正に当たっては、受注者間で調整を行う。
- ・ 監督員は、受注者が作成する現場閉所（現場休息）の日が記載された「工程表」等により、定期的に対象期間内の現場閉所（現場休息）日数を確認する。
- ・ 受注者は、監督員による現場閉所（現場休息）の状況の確認のため「工程表」等に現場閉所（現場休息）日を記載し、監督員に提出する。

③ その他留意事項

- ・ 現場閉所（現場休息）の状況の確認に当たっては、新たな書類作成等により事務負担が増大しないよう留意し、既存の書類の活用に努める。
- ・ 監督員は、現場閉所（現場休息）の前日などに、現場閉所（現場休息）の日により作業が発生するような指示等は行わないように配慮する。
- ・ 監督員は、一つの工事現場において、設備工事、内装工事等の後工程の適正な施工期間を考慮して、全体の工程に遅延が生じないように、各工事間（分離で発注した工事を含む。）の調整を適切に実施する。
- ・ 工事の一時中止を行う場合など、対象外とする期間を変更する必要があるが生じた

場合は、その都度、監督員は受注者と協議する。

- ・ 監督員は、統括安全衛生責任者を選任している場合で、その者が職務を行うことができないときは、労働安全衛生法等の規定に基づき、代理者を選任しなければならないことから、「工程表」等を受注者から受領した際に、統括安全衛生責任者を選任している受注者が現場休息の日となる場合の体制について必要な調整を行う。

(2) 「週休 2 日適用工事」の見える化

受注者は、「週休 2 日適用工事」である旨を仮囲い等に明示する。

(3) 適正な工期の確保

「公共建築工事における工期設定の基本的考え方」等に基づき、後工程へのしわ寄せ及び全体工程の遅延が生じないように、設備工事等の後工程の適切な施工期間や設備の総合試運転調整等に必要な期間を確保するなど、適正な工期を設定する。

特に新営工事については、（一社）日本建設業連合会の「建築工事適正工期算定プログラム」等を参考活用する。

(4) 工事成績評価

発注者は、工事成績採点の審査項目別運用表において、以下のとおり評価するものとする。

① 「完全週休 2 日（土日）」又は「月単位の週休 2 日」を達成した場合

- ・ 監督員が評価する「2. 施工状況 II. 工程管理 ⑦休日・代休の確保を行っている。」の評価対象項目を評価する。
- ・ 係長等・工事を総括する技術職員が評価する「2. 施工状況 II. 工程管理 ④配置技術者（現場代理人／監理技術者／主任技術者）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。」の評価対象項目を評価する。

② 「完全週休 2 日（土日）」を達成した場合

- ・ 監督員が評価する「5. 創意工夫 ■その他 長岡市「週休 2 日適用工事」（令和 8 年 4 月）実施要領【営繕工事】により、「完全週休 2 日（土日）」を達成した。」の評価対象項目を評価し、1.0 点を加点する。

③ 明らかに週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合

- ・ 現場着手前に受注者から提出された「工程表」等が、通期の週休 2 日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に通期の週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、係長等・工事を総括する技術職員が評価する「7. 法令順守等 8. その他（理由： ）」の理由欄に「明らかに週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった。」と記載し、1.0 点を減点する。
- ・ なお、「発注者指定方式（完全週休 2 日（土日）」においては、完全週休 2 日（土日）に関する点数を減ずる措置は行わないものとする。

(5) 元請下請の取引の適正化

週休２日適用工事の実施にあたり、工期や契約金額等について下請業者へのしわ寄せが生じることのないよう、受注者との協議を密に行うものとする。